

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-2_文化芸術の振興と歴史文化の継承

基本計画		事業番号	細事業名称
5-02-01	文化芸術活動の推進	06199_01	別子山地区産業文化祭開催事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10144_01	文化施設環境整備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10335_01	文化芸術振興事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10479_06	総合文化施設充実事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10502_01	総合文化施設環境整備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10512_01	新居浜市文化祭事業補助金
5-02-01	文化芸術活動の推進	10623_01	新市民文化センター建設準備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10628_01	市制85周年記念特別公演開催事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10629_01	市制85周年記念特別企画展開催事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	02556_01	市史編さん事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_01	文化財保護事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_02	市指定文化財保存事業補助金
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_03	ツガザクラ保存管理計画策定事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10577_01	旧広瀬邸等保存活用事業

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06199_01		
事業名(行目名称)		別子山地区産業文化祭開催費	細事業名	別子山地区産業文化祭開催事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区地域住民等		数値	200人		
	手段(どうやって)	別子校区産業文化祭のうち産業の部においては、農林産物の展示、即売を実施する。文化の部においては、絵画、書道、写真、手芸品等の作品を展示する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子校区産業文化祭は、農林産物の展示、即売など各種の催し物を通じて生産者の意欲の向上を図るとともに、文化祭を通じて地域住民のつながりを深める。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		250	250	250	250	○委託料 250千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	250	250	250	250		
一般財源		0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
来場入場者数(人)			目標値	200	200	200	200
			実績	180	190	0	150
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
11月13日に開催予定。新型コロナウイルス感染拡大の影響で規模縮小の可能性がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
地域住民のつながりを深めると共に、地域の活性化及び地域文化の振興を図るため、現状どおり事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
別子山地域が一体となって取り組むことにより、地域の活性化に寄与するとともに、農林産物に対する生産性の向上や地域文化の振興が図られた。なお、別子山小中学校の行事の関係で生徒、保護者、教員が当日参加しなかったため、入場数減となった。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10144_01		
事業名(行目名称)		文化施設環境整備事業	細事業名	文化施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民	数値	120351人			
	手段(どうやって)	建物及び設備の改修、備品の整備					
	目的(どんな状態にしたいのか)	施設修繕等を行い、適正な施設の管理運営を図り、文化施設を利用する市民の利便性の向上や快適な使用環境の提供を図る。また、施設の不備による臨時の休館がないように適正な管理をしていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		33,667	32,881	32,881	32,050	○需用費 3,862千円 ○委託料 2,941千円 ○使用料及び賃借料 19,293千円 ○工事請負費 5,896千円 ○備品購入費 889千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	12,717	9,758	9,758	0		
	一般財源	20,950	23,123	23,123	32,050		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
工事修繕件数		目標値	0	3	0	1	0
		実績	4	3	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>施設も老朽化しており、利用者の安全性を確保するためにも今後も継続した施設修繕は必要である。経年劣化に伴う突発的な故障の発生が増加してきており、早急な対応が求められる。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>老朽化施設のため緊急性を伴うものが多く、柔軟な対応が求められる。耐用年数も残り5年となっていることから、費用対効果を考えた予算確保が必要である。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
<p>市民が少しでも良い環境で文化芸術活動が行えるよう、設備、備品等の更新を行った。今後の環境整備については、残年数との費用対効果を考慮すると大掛かりな工事ではなく修繕での対応が妥当と考える。老朽化が進んでいることもあり突発的な故障、損傷が発生する回数が増加していることから、早急に対応できるような修繕費の確保が必要である。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10335_01		
事業名(行目名称)		文化芸術振興費	細事業名	文化芸術振興事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	120351人			
	手段(どうやって)	子どもが芸術活動を体験できるよう、芸術文化プログラム等を開催する。また、ホールの活用を図ると同時に、多くの市民が身近な地域で芸術に触れる機会を提供する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民が芸術公演を体験し、また、子ども達も身近な地域で体験することにより、豊かな時間を共有する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○職員手当等 237千円 ○需用費 68千円 ○委託料 1,470千円		
経費		1,171	1,775	1,775	1,531			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,171	1,775	1,775	1,531			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
文化公演事業数(アウトリーチ含む)			目標値	6	13	4	13	15
			実績	2	5	4	7	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症のため中止としていた「ふるさと写生大会」を3年ぶりに開催し、多くの児童生徒、保護者に参加していただいた。講師からの細かな指導を受けることで、描くことへの意欲、興味が増し、参加者からも大変好評であった。今後においても、文化の灯を消さないよう、アフターコロナを見据えた事業実施が必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
引続き、市民が文化を身近に感じるとともに、鑑賞、活動できるような事業を実施するための予算要求を行う。また、費用効果を考えた適正な受益者負担を設定する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
子ども達が身近な地域で芸術文化を体験することにより、豊かな時間を共有することを目的として「芸術文化プログラム」を実施した。また、市民が優れた芸術公演を鑑賞する機会として、NHK公開収録番組である「ベストオブクラシック」を新居浜市市制施行85周年記念事業として実施した。そのほか「こどもふるさと写生大会」の実施や、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため、新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、市美術展を開催するなど、幅広い世代の人々が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10479_06		
事業名(行目名称)		総合文化施設充実費	細事業名	総合文化施設充実事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	117389人			
	手段(どうやって)	新居浜市美術館で、企画展、常設展を開催する。あかがね座、創作スペースを活用してイベント、ワークショップを実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市内外にあかがねミュージアムについて発信し、あかがねミュージアムを知ってもらおう。また新居浜市民の文化力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		14,653	22,831	22,831	20,725	<ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等 474千円 ○報償費 147千円 ○旅費 1,199千円 ○役員費 250千円 ○委託料 15,661千円 ○使用料及び賃借料 100千円 ○負担金補助及び交付金 5,000千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	14,635	22,831	22,831	20,725		
	一般財源	18	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
展覧会回数		目標値	5	6	4	5	2
		実績	4	7	4	6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和4年度開催予定としていた春季特別展「描かれた女たち」、夏季企画展「おひるねびじゅつかん」、新居浜の美術コレクション展などは、コロナの影響はあったものの、予定通りの事業を開催することができている。特に今年度に初めて開催した現代美術作家の二人展「あかがねアートクロッシングhome」は斬新な展示内容が非常に好評であった。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>充実した展覧会を今後とも開催していくためには、予算の拡大が必要であると思われる。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>当初に予定していた「描かれた女たち」「おひるねびじゅつかん」「あかがねアートクロッシング」「新居浜の美術コレクション展示」について、全て無事に開催することができた。これまで美術館に来る機会が少なかった乳幼児対象の企画展や、新居浜ゆかりの現代作家二人展なども開催し、幅広い層に美術館の魅力をアピールすることができた。ただ、輸送費をはじめとした諸経費の高騰により開催経費が増加傾向となっており、集客力の高い展覧会を開催していくことによって歳入増加を図っていくことが重要である。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10502_01		
事業名(行目名称)		総合文化施設環境整備事業	細事業名	総合文化施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	117389人			
	手段(どうやって)	利用者から特に要望の多い設備の設置や、来館者の安全性を確保するため施設の一部を修繕する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	来館者の安全性の確保及び利便性向上					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		7,317	1,043	1,043	999	○需用費 1,043千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,317	1,043	1,043	999		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
工事・修繕実施回数		目標値	4	2	2	2	5
		実績	6	8	2	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
開館後7年を経て、利用頻度の高い設備については、故障や取り換えが生じてきているため、今後も順次更新の必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
設備の不具合により、来館者や利用者への不便が生じる。必要な予算を確保し、緊急を要するものから計画的に修繕をしていく必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
設備の不具合により、来館者や利用者への不便が生じる。必要な予算を確保し、緊急を要するものから計画的に修繕をしていく必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10512_01	
事業名(行目名称)		新居浜市文化祭事業推進費		細事業名	新居浜市文化祭事業補助金		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承		
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	社会教育課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	新居浜市民			数値	116,052人(R4.3.31現在)	
	手 段 (どうやって)	公民館もしくは小・中学校学校体育館等を使用し、文化祭を開催する。 ・児童・生徒の作品展示 ・公民館サークルおよび単位自治会の作品展示 ・地域各種団体によるバザー・作品展示等					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	公民館を中心として文化祭を開催することにより、市民の文化性および協調性を高め、今後より一層の地域交流の向上を目的とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		207	1,127	1,127	574	○負担金補助及び交付金 1,127千円	
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	207	1,127	1,127	574		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
文化祭来場者数(人)			目標値	118521	117439	116052	116052
			実績	185	2614	0	7974
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和4年度の実施予定の文化祭は、対象になっている16校区(地区)のうち、13(うち補助金申請予定11)校区(地区)において、11月初旬～中旬にかけて実施予定となっている。新型コロナウイルス感染症対策も万全にし、飲食を伴わない物品販売をしたり、作品展示のみにするなど、各地区の実情に応じて、工夫をしながら開催予定としている。</p> <p>作品展示は、小中学校の児童生徒の作品や地域各種団体の作品、公民館サークルや講座の作品などを展示する予定にしており、多世代に渡る地域住民の相互交流の場となるよう計画を進めている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>公民館を中心とした文化祭の実施は、多くの住民や世代が関わり、実施していく良い機会となっており、今後の市民の文化性及び協調性を高め、地域交流の向上を図るためには、不可欠な事業となっており、本事業を継続する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>当初予定していた全校区、地区の開催は困難であったが、展示会、テイクアウト販売や芸能発表会など、実施可能な部分に絞って、感染対策を徹底し、実施することができた。また、補助金の対象とならなかったものの、開催した校区や地区もあり、市民の文化性及び協調性を高めることができた。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10623_01		
事業名(行目名称)		新市民文化センター建設準備事業費	細事業名	新市民文化センター建設準備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	120351人			
	手段(どうやって)	新市民文化センター建設に向けた必要な機能・施設等について、市民検討委員会等を設置し、協議、検討していく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	基本構想、基本計画を策定することにより、新市民文化センターの整備手法等の具現化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			20,100	20,100	15,452	<ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等 394千円 ○報償費 1,745千円 ○旅費 595千円 ○需用費 224千円 ○役務費 30千円 ○委託料 17,112千円 	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		20,100	20,100	15,452		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
基本構想の策定		目標値			0	1	1
		実績			0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新市民文化センター基本構想市民検討委員会及び庁内検討委員会を設置し、必要な機能・施設等について、協議を行っているところである。また、新施設への参考にすべく、近隣施設への視察研修も実施した。 様々な角度からの意見が出ており、より良い施設整備に向け、費用対効果も勘案しながら、引き続き検討を行っていく。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>翌年度については、新市民文化センターの基本計画策定のため、引続き予算要望を行う。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>市民検討委員会及び庁内検討委員会の開催、先進地視察研修を行い、市民文化センターの整備にあたってのコンセプトや基本的な方向性を定めた「新居浜市市民文化センター基本構想」を策定した。 引続き令和5年度において、より具体的な施設の規模や配置等について検討していく。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10628_01	
事業名(行目名称)		市制85周年記念特別公演開催事業費		細事業名	市制85周年記念特別公演開催事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承		
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	文化振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	120351人	
	手段(どうやって)	市制85周年を記念し、虚構の劇団解散公演「日本人のへそ」を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市市制85周年を迎えるにあたり、新居浜市出身でふるさと観光大使である劇作家・演出家鴻上尚史さん率いる「虚構の劇団解散公演」を開催することで、市民に質の高い文化芸術に触れてもらうことを目的とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			4,000	4,000	4,000	○負担金補助及び交付金 4,000千円	
財源	県・国支出金		2,000	2,000	2,000		
	地方債		0	0	0		
	その他		2,000	2,000	2,000		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
参加人数			目標値		0	540	0
			実績		0	667	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>11月12日、13日にあかがねミュージアムにおいて3公演開催する予定である。11月8日には関連イベントとして、鴻上尚史さんによる演技指導のワークショップも開催予定である。</p> <p>また、当日の参加者以外の方にも演劇等舞台芸術に興味、親しみを持ってもらい、新たな担い手を確保するため、本演劇のバックステージ、ステージの仕掛けを鴻上さんの案内による説明、役者等のインタビューを交えた番組を制作し、ケーブルテレビで放映する予定である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
市制85周年記念事業のため、次年度の開催はなし。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>虚構の劇団の解散公演でもあったため、3回公演ともほぼ満席と盛況であった。また、鴻上尚史さんによる演技指導のワークショップも開催し、参加者には大変好評で今後も開催してほしい旨の要望があった。</p> <p>今後においても市民へ質の高い文化芸術が提供できるよう検討していく必要がある。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10629_01		
事業名(行目名称)		市制85周年記念特別企画展開催事業費	細事業名	市制85周年記念特別企画展開催事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	120351人			
	手段(どうやって)	新居浜市市制85周年記念事業として、絵本作家である五味太郎氏の原画展を開催する。絵本原画(7作品)、国内外で出版された絵本(180冊)、にアニメーションや制作風景の上映なども取り入れ、五味氏の世界を紹介する。関連事業として、五味太郎氏のトークショーやWAVEの絵本作家による絵本の読み聞かせやワークショップも開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	現在は、五味氏の絵本を子どもの頃読んでもらっていた世代が、親となり読み聞かせる側となっている。五味氏の絵本は親と子や祖父母と孫が一緒になって楽しめる作品であるため、今回の展覧会では、子どもから大人までを対象に絵本の原画や映像を通して、また関連事業を通して五味太郎氏ワールドを楽しんでもらいたい。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 10,664千円	
経費			10,664	10,664	10,570		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		10,664	10,664	10,570		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
展覧会の開催件数		目標値			0	1	0
		実績			0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
12月3日からの展覧会開催に向け、ポスター、チラシ等の印刷物の制作がほぼ完了し、11月に入ってからそれらを中心に広報活動を開始する。展示計画については出品作品は決定し、会場レイアウトも完了している。関連事業の内容打合せについても、計画通り準備が進んでいる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
85周年記念事業であるため、来年度は実施しない。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
日本を代表する絵本作家・五味太郎さんの展覧会として、「くじらだ」「がいこつさん」「まどからおくりもの」など7作品の原画の展示や、国内外で出版された絵本等書籍の展示、絵本原画とあわせたアニメーション上映も行った。また、関連企画として五味太郎さん本人によるトークショー＆サイン会を実施、全国から多くのファンに来ていただくことができた。 なお本事業については、85周年記念事業であるため、来年度は実施しない。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	02556_01		
事業名(行目名称)		市史編さん事業費		細事業名	市史編さん事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承		担当課	市史編さん室			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	116052人		
	手段(どうやって)	市民意識の醸成を図りながら、資料の収集、調査・分析等を行い、新しい「新居浜市史」を編さんする。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民が、新居浜市の歴史を学び、知ることにより、新居浜市に対する愛着や誇りを持つまちを目指す。また、市民の歴史的文化的遺産として歴史史料を後世に継承するとともに、新居浜市が将来進むべき方向を見極めるため、過去から現在を伝えるための正確な記録を残す。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○報酬 5,736千円 ○職員手当等 902千円 ○共済費 1,054千円 ○報償費 2,166千円 ○旅費 1,423千円 ○需用費 1,083千円 ○役務費 116千円 ○委託料 2,752千円 ○使用料及び賃借料 659千円 ○備品購入費 193千円 ○負担金補助及び交付金 42千円		
経費		12,091	16,126	16,126	14,640			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	12,091	16,126	16,126	14,640			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
普及事業の実施回数			目標値	2	1	2	2	2
			実績	1	1	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
コロナ禍の影響により2年間実施できなかった、市民へ郷土の歴史について関心を深めることを目的とした、「市史編さん歴史記念講演会」を5月に実施し啓発を行った。また、現在活動している「古代・中世」専門部会では中世の郷土の歴史として関心が深い「金子家文書報告書」を年度末の発行に向け進めている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
令和4年12月に、新たに「近世専門部会」「近代・現代専門部会」「太鼓台専門部会」を設置し、今後、刊行計画に基づき、組織体制の充実に努め、各専門部会の方針に基づき、調査研究していく。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和4年度に12月に「近世専門部会」「近代・現代専門部会」「太鼓台専門部会」を新たに設置した。今後専門部会と連携し、刊行計画に基づき調査研究等取組む。「古代・中世」専門部会は、研究成果の発表とし金子家文書市史調査報告書を令和5年3月に発行した。令和7年度の「古代・中世(史料編)」の刊行に向け、刊本・原本調査等実施した。今後進行管理しながら刊行に向け取り組んでいく。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10255_01		
事業名(行目名称)		文化財保護費	細事業名	文化財保護事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民	数値	120351人			
	手段(どうやって)	(1)開発業者等からの土木工事等の予定場所が周知の埋蔵文化財包蔵地であるか否かの照会に対し、適切な対応を指導する。 (2)文化財所有者等から所有する文化財の保存について相談があった場合に、適切な助言を行う。 (3)文化財に関する所有者や開発業者からの多様な質問に対し、適切な対応がとれる体制を整備するため、職員の資質向上のための研修に積極的に参加する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	(1)指定文化財については、所有者等からその適切な保存のために相談があったときに専門的な立場から助言を行うほか、修理等が必要な場合にはその方法を指導し、必要な場合は財源確保のためのアドバイスを行うことにより文化財の適切な保存と活用を図っていく。 (2)埋蔵文化財については、公共事業に伴う発掘調査の計画をなるべく早期に把握し、調査体制の充実を図る。民間開発についてはいつどの程度の規模の調査が発生するか予測できないため困難ではあるが、公共事業に伴う調査については事業課に直接照会依頼を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース ○報償費 153千円 ○旅費 94千円 ○需用費 75千円 ○使用料及び賃借料 660千円	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,209	982	982	224		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,209	982	982	224		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
文化財指定登録件数		目標値	102	110	110	110	110
		実績	109	110	110	110	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
指定文化財の啓発用リーフレットを作成し周知を行ったり、維持管理に努め、適切な保存を行っている。 埋蔵文化財についても、所有者や事業者等への適切な指導を行っている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
地域計画策定のため、今後実施すべき事業の根拠となる資料等の作成や調査、研修への参加等を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
当初の計画とおりの指定登録数となっている。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10255_02		
事業名(行目名称)		文化財保護費	細事業名	市指定文化財保存事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	120351人		
	手段(どうやって)	文化財の所有者(管理者)に補助金を支出し、適正な補修、維持管理を行ってもらう。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市指定文化財である「アッケシソウ」及び「久具屋敷」を将来にわたって適正に維持していく。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 356千円	
経費		187	356	356	155		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	187	356	356	155		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
補助実施率		目標値	100	100	100	100	100
		実績	33	20	20	20	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
適正な維持管理のため補助金を支出する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
貴重な文化財の保全にかかるものであり、例年どおり要望を行いたい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		B:事業の進め方の改善検討				
管理者死亡より維持管理がとまっていたアッケシソウ保全事業について、地元公民館を中心として保存活動が再開された。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10255_03		
事業名(行目名称)		文化財保護費		細事業名	ツガザクラ保存管理計画策定事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承		担当課	文化振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	全市民			数値	120351人		
	手 段 (どうやって)	植生調査を実施し、有識者や市民の意見を取り入れた保存管理計画を策定する。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	貴重な天然記念物を後世まで守り伝えていく。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		5,942	6,334	6,334	3,570	○報償費 50千円 ○旅費 245千円 ○委託料 6,039千円		
財 源	県・国支出金	2,970	3,167	3,167	1,224			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,972	3,167	3,167	2,346			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
委員会開催回数			目標値	0	1	1	2	4
			実績	1	1	0	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
ツガザクラの自生状況の調査を行い、計画策定の資料づくりを進めている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
これまでに調査した結果を踏まえた整理を行い、保存活用計画を策定するため、予算要望する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
当初の予定どおり過去の調査結果を元とした保存活用計画の調査項目について作成することができた。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10577_01		
事業名(行目名称)		旧広瀬邸等保存活用事業		細事業名 旧広瀬邸等保存活用事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承		担当課 別子銅山文化遺産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	旧広瀬邸等			数値	1件		
	手段(どうやって)	文化庁補助事業として、国指定名勝「旧広瀬氏庭園」内の建物(重要文化財建造物を除く。)8棟に係る耐震診断を実施する。まず、馨原文庫の構造及び対象建物の周辺地盤の状況について調査し、煉瓦造構造調査(馨原文庫)及び地盤調査を通じて耐震診断に必要な情報を得る。次に、対象建物を実測し、耐震診断に必要な構造図を作成する。この場合において、柱・梁の断面、耐震要素となる壁厚、継手箇所等の解体を伴わない範囲で必要となる寸法を調査し、作図する。さらに、各建物の不陸及び傾斜を測定し、耐震性の有無についてまとめる。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	上記耐震診断の結果を基に、名勝旧広瀬氏庭園耐震検討委員会で検討し、耐震対策が必要と判断された場合は、耐震対策工事等を計画する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		27,732	14,359	23,502	22,886	<ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等 73千円 ○報償費 80千円 ○旅費 891千円 ○需用費 20千円 ○委託料 22,438千円 		
財源	県・国支出金	13,829	7,143	11,714	11,406			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	13,903	7,216	11,788	11,480			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
委員会開催回数			目標値	5	6	2	2	0
			実績	4	7	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>当初、耐震診断の本体となる工程を翌年度に実施する計画であったが、9月1日付け国庫補助金の増額交付決定を受け、補正予算を計上。年度内に全ての工程が完了する見通しが立った。なお、今後の事業の進め方を検討するため、7月に文化庁調査官の現地指導を仰いだ。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>令和5(6)年度において、重要文化財旧広瀬家住宅保存整備事業として調査工事(基本計画・基本設計)を、名勝旧広瀬氏庭園保存整備事業として整備基本計画策定(基本計画)を、重要文化財・名勝防災施設整備事業として防災施設整備基本計画(基本設計)をそれぞれ実施したいと考えている。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>名勝旧広瀬氏庭園耐震検討委員会を設置。 令和4年8月25日(ZoomによるWeb会議)と令和5年3月2日(広瀬歴史記念館)の2回会議を開催し、耐震診断の結果を基に修理その他耐震対策を含む今後の整備方針の検討を行った。</p>								